

学校名	学年	教科
川越中学校	3 年	社会科

1. 学習のねらい

歴史分野	○歴史的事象に対する関心を高め意欲的に追究し、広い視野にたって我が国の文化と伝統について考え、国民としての自覚を持とうとする。 ○歴史的事象から課題を見出し、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。 ○年表や歴史地図、映像など歴史に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究、考察した過程や結果を年表や報告書などにまとめ、発表や討論を行うことができる。 ○我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを我が国の歴史と関連のある世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。
公民分野	○個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を身につける。 ○個人と社会とのかわりを中心に理解を深め、社会の諸問題に着目し、自ら考えようとする。 ○国際関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国・各国民が協力し合うことが重要であることを認識し、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚する。 ○現代の社会事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択し、多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切に表現することができる。
教材	教科書：新しい社会歴史（東京書籍） 中学社会「公民的分野」（日本文教出版） 副教材：みつけよう？と！歴史資料（とうほう） 歴史の学習（浜島書店） ビジュアル公民（とうほう） 公民の学習（浜島書店）

2. 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組もうとしている。」 - 意欲的に発言・作業活動に取り組もうとしている。 - 学習の準備をし、課題を期日までに提出しようとしている。 - 世の中の様々な事柄に興味をもっている。	- 観察（授業態度・発言） - 課題などの提出状況 - ノートの整理 ・自己評価 - テスト
②社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ、表現できる。」 - 多面的に考察することができる。 - 事実を結びつけたり予想したりすることで筋道を立てた発言ができる。 - 予想や事実を含め、理論立てて論述できる。	- 観察 - 課題 - ノート - テスト
③資料活用の技能	「資料を正しく読み取るとともに、適切に選択し活用できる。」 - 地図、統計、図表、史料を正確に読み取ることができる。 - 課題を追究することに必要な資料を収集し活用できる。 - 資料を活用したり、図表にまとめたりできる。	- 観察 - 課題 - ノート - テスト
④社会的事象の知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 - 基本用語を理解し、正しく使うことができる。 - 社会的事象の因果関係や基本的背景が理解できる。	- テスト - 課題

3. 学習計画（歴史・公民分野）

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学期	「歴史分野」 第5章 開国と近代日本の歩み 3 日清・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦とアジア・日本 2 世界恐慌と日本の中国侵略 3 第二次世界大戦と日本	①近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追及している。 ②近代日本が形成されていく過程を国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。 ③近代日本が成立していく過程を、近代に関する様々な資料を活動し、追及した結果を読み取ったりまとめられたりしている。 ④開国から明治維新を経て近代国家が形成され、近代文化が形成された過程を欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身につける。 ①二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。 ②日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。 ③写真や日記、記録などの資料や、表やグラフなどの客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ④二度の世界大戦の頃の日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。

3 年 1 学 期	「歴史分野」 第7章 現代の日本と世界 1 日本の民主化と国際社会への復帰 2 国際社会と日本 「公民分野」 第1編 私たちと現代社会 1 私たちが生きる現代社会の特色 2 現代社会の文化と私たち	①個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付け、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つとうと努めている。 ②戦後の日本の歩みについて考え、自分の意見を述べようと努めている。 ③表やグラフなどの資料を積極的に活用し、当時の生活を実感しようとしている。 ④終戦から現在に至るまでのできごとの概要について、世界の動きと関連させて理解し、終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の将来の課題を理解している。 ①少子高齢化やグローバル化など現代日本の社会はどのような特色を持ち、伝統や文化の影響を受けているのかについて意欲的に追究している。 ②現代日本の特色である少子高齢化、情報化、グローバル化など政治、経済、国際関係への影響や、日本の伝統文化の意義とその継承についてなどを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③写真や統計資料、聞き取り調査などの現代日本の社会の特色や、我が国の伝統と文化に関する様々な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ④少子高齢化、情報化、グローバル化といった現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、自国の伝統と文化を大切に、他国の伝統と文化を尊重することに気づいている。
3 年 2 学 期	3 現代社会をとらえる見方や考え方 第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法 1 法に基づく政治と日本国憲法 2 日本国憲法と基本的人権 3 日本の平和主義 第2章 民主権と日本の政治 1 民主政治と政治参加 2 くらしを支える地方自治 3 国の政治のしくみ 第3編 私たちの生活と経済 1 消費生活と経済のしくみ	①様々な社会集団の一員として、家族、学校、地域の自治会、職場など様々な集団における物事の決定の仕方、さまりの意義に対する関心を高め、それらを守ることを意欲的に追究している。 ②具体的事例をもとに、物事の決定の仕方、決定したことを守ることについての意味があるのかについて、対立と合意、効率と公正といった見方や、考え方をを用いて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③物事の決定の仕方、さまりの意義に関する具体的な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④人間は社会的な存在であり、よりよい社会生活を営んでいくためにさまりや取り決めが必要であることを理解し、その知識を身に付けている。 ①基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方、法や法に基づく政治に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。 ②身近で具体的な事例を通して、日本国憲法に基づく政治によって国民の自由と権利が守られていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③人間の尊重についての考え方と法に関する様々な資料を収集し、その中から学習に役立つ情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④人権を守り社会生活を営む規範となることに法の意義があること、法に基づく政治によって基本的人権の保障を目指していること、日本国憲法の基本的原則を理解し、その知識を身に付けている。 ①国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、国や地方公共団体の仕組みや考え方について意欲的に追究するとともに、自ら主権者として主体的に政治に参画しようとする意欲を高めている。 ②議会制民主主義が我が国の政治の原則になっていること、主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に追究している。 ③調査や見学などによって、議会制民主主義や地方自治の仕組みについての様々な資料を収集し、自らが自らを治めるといふ民主政治の基本的な考え方と、その考え方に基づく国や地方公共団体の政治の仕組みについての学習に役立つ情報を適切に選択し読み取ることや、図表などにまとめている。 ④地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、我が国の民主政治の仕組みのあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解し、その知識を身に付けている。 ①個人の消費生活に対する関心を高め、意欲的に追究し、個人の消費生活について考えようとしている。 ②市場経済の仕組みや価格について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③価格や消費生活に関わる様々な資料を収集し、有用な資料を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④経済活動の意義について消費生活を中心に理解するとともに、市場経済の基本的な考えについて理解し、その知識を身に付けている。

3年2学期	2 生産の場としての企業 3 金融のしくみとお金の価値 4 財政と国民の福祉	①身近で具体的な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働きについて関心を高め、それを意欲的に追究し、個人や企業の経済活動について考えようとしている。 ②企業の社会的責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、様々な立場から多面的・多角的に考察するとともに、生産のしくみや金融についても様々な視点から多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 ③企業の生産活動、金融などに関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④生産の仕組み、金融の種類や働きなどを理解し、その知識を身につけているとともに、企業の役割や社会的責任を理解し、その知識を身に付けている。 ①国や地方公共団体の経済活動や財政について考えようとし、税の使い道などに理解と関心を深めるなど納税者としての自覚を持っている。 ②国や地方公共団体の果たす役割や課題・現代社会の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 ③財政の役割や国や地方公共団体の経済活動について情報を収集し適切に選択し、読み取ったり図などにまとめたりしている。 また、少子高齢化社会における社会保障について自分の問題として捉え、まとめたり説明したりしている。 ④社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。
3年3学期	第4編 私たちと国際社会 1 国家と国際社会 2 国際社会の課題と私たちの取り組み 第5編 私たちの課題 一持続可能な社会をめざして一	①国際理解と国際協力に対して積極的に取り組む意欲を高め、世界平和を確立するための熱意と協力の態度が育ち、人間の生命の尊さ、平和の尊さを考えようとしている。 ②グローバル化してきた国際社会における我が国の役割、日本の国際貢献、世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などに関わる課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界平和の実現と人類の福祉の増大に関わる国際社会の活動に関する資料を、様々な情報手段を活用して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④国際政治は国家間の対立の克服を試みるものであること、全ての国家の主権が相互に尊重されなければならないこと、地球環境、資源・エネルギー、貧困な課題に対しては、経済的、技術的な協力が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 校 学 習 方 法	学 校	- 今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもつてのぞみましょう。 - わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。 - わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなどして、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。 - ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。 - 学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信をもちましょう。 - ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。
	家 庭	- 学習したことは、その日のうちに復習しましょう。 - 教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。 - ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。 - テストで間違えた問題は復習しましょう。 - 普段から新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味をもったりしたことがらはすぐに調べる習慣をつけましょう。